

北部イベント

新入職員オリエンテーション 西棟4階 診療放射線専門学校講堂

4月1日(木)は午前中の大学での入職式を終え、午後からは当院4度目の新入職員オリエンテーションが講堂にて行なわれました。
 本年度は新卒者、既卒者を含め、看護師110名、放射線技師3名、臨床検査技師1名、薬剤師1名、事務職員1名、合計116名が新規に当院へ配属されました。
 初めに、田口進病院長より3つの約束『北部病院3大理念に則り患者さまを中心の看護(医療)を行なう』『きちんとした言葉遣い、挨拶を心がける』『一人で悩まずみんなと相談し合う』と挨拶があり、つづいて、松本美恵子看護部長からの挨拶と各部門の責任者の紹介がありました。
 翌日には、都筑警察署長より防犯についての講演の他、署員の方より緊急時の対処法の実演を頂きました。実演は職員も参加し、楽しく対処方法を学ぶことが出来ました。



入職式の光景

患者様からのご意見・ご要望

日々患者様より頂きましたご意見・ご要望に関しては関連する部署の責任者に報告しております。改善すべき点や取り入れたほうが良いことなど出来る限り対応したいと考えております。ご意見の中で特に危険なこと、多くの方が希望していることを優先に対応したいと考えております。もちろん少数意見も対応させて頂いております。
 前回に引き続き、今までのご意見の中で多くいただいたものや最近よくいただくご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させていただきます。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。
 今後もお気付きの点やご要望をお聞かせください。(= 継続掲載項目)

ご意見・ご要望	改善等
正面玄関インターフォンの設置について	『時間外に病院の前の院外薬局に行く場合、時間外の入口からだと階段があり、車椅子やベビーカーを利用している方は困る。』とのご意見をいただきました。 正面口は防犯等の関係で夜間・休日は施錠をしておりますが、車椅子、ベビーカー利用の方や足の不自由な方が病院前の院外薬局を利用する為に中央棟1階正面口の内側にインターフォンを設置させていただきましたのでご利用ください。
冷水機について	『冷水機があるのはとてもありがたいのですが、かなり塩素の臭いがきつく、まずい。安全のためとは思いますが、美味しさも大切だと思います。』とのご意見をいただきました。 病院内の飲料用の水は、横浜市の水質基準に基づき管理されており、塩素濃度、味、臭気等については毎月の水質調査で問題ない状態に保たれております。しかしながら、曜日や時間帯によって塩素等が気になる方がいらっしゃるのご意見がございますので、調査をして基準内で塩素等を調整できるか検討させていただきます。ただし、水道水であることから、それ以上の美味しさを求める方は市販のミネラルウォーター等をご利用ください。
清掃について	『掃除機が臭いです。座っている、その目の前を掃除機が通るので不快です。ご検討ください。』とのご意見をいただきました。 現在、外来の清掃については17:30から開始しており、患者様にはなるべくご迷惑のかからないよう時間的な配慮をさせていただいておりますが、曜日によっては一部診療科等で診察中の場合もございますので、患者様がいらっしゃる場所に関しては清掃順番を状況に応じて変更させていただきます。また、排気の臭いについては、カートリッジ内に溜まっているごみが影響されていることから、交換時期を早めさせていただきます。
小児病棟の面会について	『面会が両親しか出来ないため、小さな子供がいる場合は病棟前のエレベーター前の椅子で待たせなければなりません。連れ去りやエレベーターの事故など危険です。安心して待たせておける場所を確保していただけないでしょうか。』とのご意見をいただきました。 小児病棟では感染症等の関係(詳細は病院だより13号に掲載)から小さなお子様(低学年学童含む)のご面会を控えていただいております。入院患者様等には、入院時にご案内させていただいておりますので、ご面会される方にはお伝えされていることと思われそうですが、お伝えきれなくお子様連れで来院された場合は病棟スタッフにご相談ください。状況に応じて対応させていただきます。 院内の託児所の設置については13号にも掲載させていただきましたが設置は困難です。託児施設・運用については区及び地域団体等にご相談していただければと思います。将来的に、この地域に気軽に一時預りのできる施設ができることを望んでおります。

編集後記

「春はあけぼの、やうやう白く・・・」の言葉のように、9階レストランから遠くに臨む丹沢の山々が霞んで見えます。春は一年でもっとも良い季節ですが、「春眠暁を覚えず」のごとく睡眠曲線も一年中もっとも深いのでつい寝過ぎてしまわないように気をつけなければなりません。この時期スタッフの入れ替わりも多く、新入職員歓迎会などでお疲れかと思えますが、体調維持にはくれぐれもお気を付け下さい。「無事は名馬」といいますが、元気に休まないで働くことが大切です。「春うらら」の如く・・・

広報委員会 委員長 島田 誠

北部病院だより 第19号
 平成16年4月15日発行
 発行責任者 田口 進(昭和大学横浜市北部病院長)
 編集責任者 島田 誠(広報委員会 委員長)
 発行 昭和大学横浜市北部病院
 〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央35-1
 電話 045-949-7000(代表)
 URL: <http://www10.showa-u.ac.jp/~hokubu/>
 北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がダウンロードできます。

北部病院だより 第19号

第19号【2004/04/15 発行】
 発行者：昭和大学横浜市北部病院



何色がお好きですか？

巻頭言

『 たゆまぬ鼓動 』
 循環器センター 助教授 手取屋 岳夫

医師の配属・異動・退職
 病院からのお知らせ
 外来担当表
 北部イベント
 患者様からのご意見・ご要望

巻頭言

『 たゆまぬ鼓動 』



循環器センター 助教授 手取屋 岳夫

手術を専門とする外科分野で、心臓外科には特有なことがあります。それはとても当たり前のことなのですが、「心臓はやすめない」ということです。たとえば、消化管の手術の後には、手術後に高カロリー輸液などで手術した箇所を少し休ませることができます。整形外科の骨折などの手術でも、修復後は安静によって手術した部位を休ませます。腎臓や肝臓などは、もともと予備能力があるので、手術のあとは、残った部分ががんばってくれます。ところが、心臓は、手術が終わったすぐも、いいえ手術中でさえ、ちゃんと動く必要があります。そうでないと他の臓器はもちろん、心臓自身にも問題が生じます。生命(いのち)の源に課せられた宿命でしょうか？

私たち心臓外科を訪れてくださる患者様は、命に直結する心臓やそのすぐ先にある大動脈の病気のために手術を受けることになります。それらのうち狭心症や心筋梗塞などの治療(冠動脈バイパス術：詰まったり、細くなっている冠動脈に血液を送る新たな道を作る手術)には、心臓が動いている状態で手術する方法が進歩しています。ここ、昭和大学横浜市北部病院では、冠動脈バイパス術は、ほとんどの予定手術(待機手術)ばかりでなく、多くの緊急手術を、人工心肺を用いないオフ・ポンプ冠動脈バイパス術で治療しています。人工心肺のことをポンプというのでオフ(Off)・ポンプ(Pump)手術というわけです。冠動脈は直径が2mm前後ですから、バクバク動いたままでは正確に手術できません。そこで、スタビライザーという部分的に心臓を固定する器具で冠動脈を固定して吻合します。こう

することによって、人工心肺を使用すること自体が患者さんのリスクとなる場合にも安全に病気の冠動脈に新しい血液を送るバイパスを行うことができます。さらに、最近になって、呼吸器疾患や代謝性疾患などのために全身麻酔自体が危ない場合や人工呼吸がリスクになる患者さんに対して、硬膜外麻酔だけで患者さんは覚醒したままでバイパスを行っています。「大丈夫ですか？痛くないですか？これから冠動脈に血管をつなぎますよ！」って声をかけながらの手術です。手術している我々の方が心配になりますが、手術後に患者さんにうかがうと、「痛くなかったです」って。これらの手術では、手術中もずっと心臓は他の臓器に血流を送り続けます。

一方、心臓外科になくしてはならない機械、人工心肺はバイパス以外のほとんどの心臓手術に活躍しています。弁膜症や心不全、胸部大動脈瘤や大動脈解離、ほとんどの先天性心疾患などは、人工心肺という装置で生命を維持しながら、心筋保護液という特別なお薬で心臓の筋肉を還流して心臓を完全に止めて手術します。人工心肺を用いる心臓の手術(これらを開心術といいます)の難しさは、手術の直後から心臓が休まずに働けるような手術をしなくてはならないということです。そのために一時的に止めても、そのあとできちんと動き出すような特殊な還流液が開発され、さらに安全になるように日々研究され続けています。また、心拍停止の時間をできるだけ短くするように努力しなければいけません。これらの努力によりずいぶん安全に手術が可能になってきています。とはいえ、一時的に止めることで、心臓にはかなりダメージが生じます。それでも、治療が終わったとたんに動き出して、他の臓器に血液を送り続けるのです。自分自身に病気があっても、治療終わるか終わらないかのうちに、人のためにふたたび働きだす人を見たら、その使命感の強さとバイタリティーに驚いて、尊敬するでしょう。皆さん自身の中に、そういった使命感でいっぱい的心臓が、こうしている間もがんばっています。

心臓外科医として、疲労困憊しても生きるためにけなげに脈打つ様子を見ると、心臓が担っている「命」に対する使命の大きさを感じます。心臓は、普段は動いていることが当たり前で、空気や水のような存在なのかもしれませんが、ときおりその鼓動に耳を傾けて、「ありがとう」と声をかけてあげてはいかがでしょうか。

医師の配属・異動・退職

新規配属医師 (順不同) 4/1付【3/2~4/1】

【他院より】 13名

梅田 陽 (こども) 昭和大学 昭和55年卒

長谷川 守 (麻酔科) 群馬大学 昭和63年卒

小松 大介 (脳神経外) 昭和大学 平成12年卒

山藤 賢 (整形外科) 昭和大学 平成9年卒

栗城 亜真里 (産婦人科) 昭和大学 平成10年卒

油井 健史 (耳鼻科) 昭和大学 平成10年卒

小松 大芽 (麻酔科) 帝京大学 平成9年卒

栗生 和幸 (呼吸器) 東京医科歯科大学 平成6年卒

新谷 隆 (消化器) 昭和大学 平成5年卒

青山 洋 (メンタル) 昭和大学 平成11年卒

菅原 草 (泌尿器) 昭和大学 平成9年卒

西巻 博 (循環器) 北里大学 昭和60年卒

富永 幸治 (外科) 昭和大学 平成元年卒

【附属病院より】 2名

山田 光彦 (メンタル) 昭和大学 鳥山病院より

齋藤 光次 (病理科) 昭和大学医学部 第一病理学教室より

異動・退職医師 (順不同) 3/31付【3/1~3/31】

【異動】

大池 信之 (病理科) 昭和大学病院 病院病理科
富田 一誠 (整形外科) 医学部 整形外科学教室
下平 和久 (産婦人科) 医学部 産婦人科学教室

西岡玄太郎 (メンタルセンター) 昭和大学藤が丘病院精神神経科
佐野 奈々 (メンタルセンター) 昭和大学鳥山病院精神神経科
七条 武志 (泌尿器科) 医学部 泌尿器科学教室

【退職】

沖 淳義 (循環器センター)
田邊 祐二 (メンタルセンター)
銅前 崇平 (麻酔科)
薄井 信介 (消化器センター)
山口 祐二 (消化器センター)
大橋 信子 (放射線科)
深見 悟生 (消化器センター)

患者さまへのお知らせ・お願い

- ピアノコンサートのお知らせ
4月27日(火) 大山 泰樹 さん
中央棟1回会計前ロビーにて、19:00より開催いたします。是非お越しください。
お詫び
前回の病院だより(第18号)のピアノコンサート紹介部分にて、曜日を誤って4月6日(火)のところを(水)と記載してしまいました。ピアノコンサートを楽しみになさっていた方にご迷惑をおかけいたしました。誠に申し訳ございませんでした。
今回はボランティアさんの紹介コーナーをお休みさせていただきます。

診療統計

2004年2月統計データ ()内は1日平均
外来患者数 24,049人(1045.6人)、入院患者数 16,921人(583.5人)、救急車搬送件数 280人(9.7人)、手術件数 352件(18.5件)

外来担当表

【2003/04/05改定版】

外来予定は都合により変更する場合がございますのでご了承ください。

Table with columns for date (日) and time slots (午前, 午後) for various departments like Respiratory, Gastro, Circulatory, etc., listing attending physicians.

放射線治療の外来日は、月火木金： 馳澤憲二です。